

平和の塔^{とう}

〔地図番号58〕

建立年月日

1974（昭和49）年10月30日

建立者

世界連邦広島県・広島市宣言
記念塔建設委員会、広島市

デザイン

川村雅美広島ディスプレイ協
会（当時 みづま工房理事長）

形状

塔は一辺が4メートルの五角錐、高さ4メートル、ゆるやかな渦巻き状。正面は焦げ茶色の御影石、他4面はギリシア産の大理石

建立の目的

広島県、広島市が、平和の都市であることを確認し、世界連邦宣言を記念する。

碑文

「平和の塔 戦争なき一つの世界 世界連邦広島県 広島市宣言記念」
（題字 広島市長 山田節男）

特記事項

1 由来

広島市の世界連邦都市宣言20周年を記念して建てられました。塔は一辺が4メートルの五角錐の形をしており、5つの面は世界の5大州を表しています。

2 「世界連邦都市宣言」

地方自治体が平和の尊さを訴え世界連邦運動に賛同を表す「世界連邦都市宣言」は1950（昭和25）年10月14日、京都府綾部市で初めて宣言されました。広島市は1954（昭和29）年10月30日で全国では5番目でした。

3 「世界連邦運動」

世界の国々が互いに独立を保ちながら、地球規模の問題を扱う一つの民主的な政府（世界連邦政府）をつくる、という考えに基づく運動のことです。第二次世界大戦後、世界各国の科学者、政治家の支持を得て急速に発展しました。1947（昭和22）年、各国の世界連邦運動団体の国際組織として「世界連邦運動（WFM）」〈本部ニューヨーク〉が結成されました。ノーベル物理学賞受賞者湯川秀樹氏が、第5代会長に就任しています。日本では1948（昭和23）年の東京で世界連邦建設同盟が創られました。